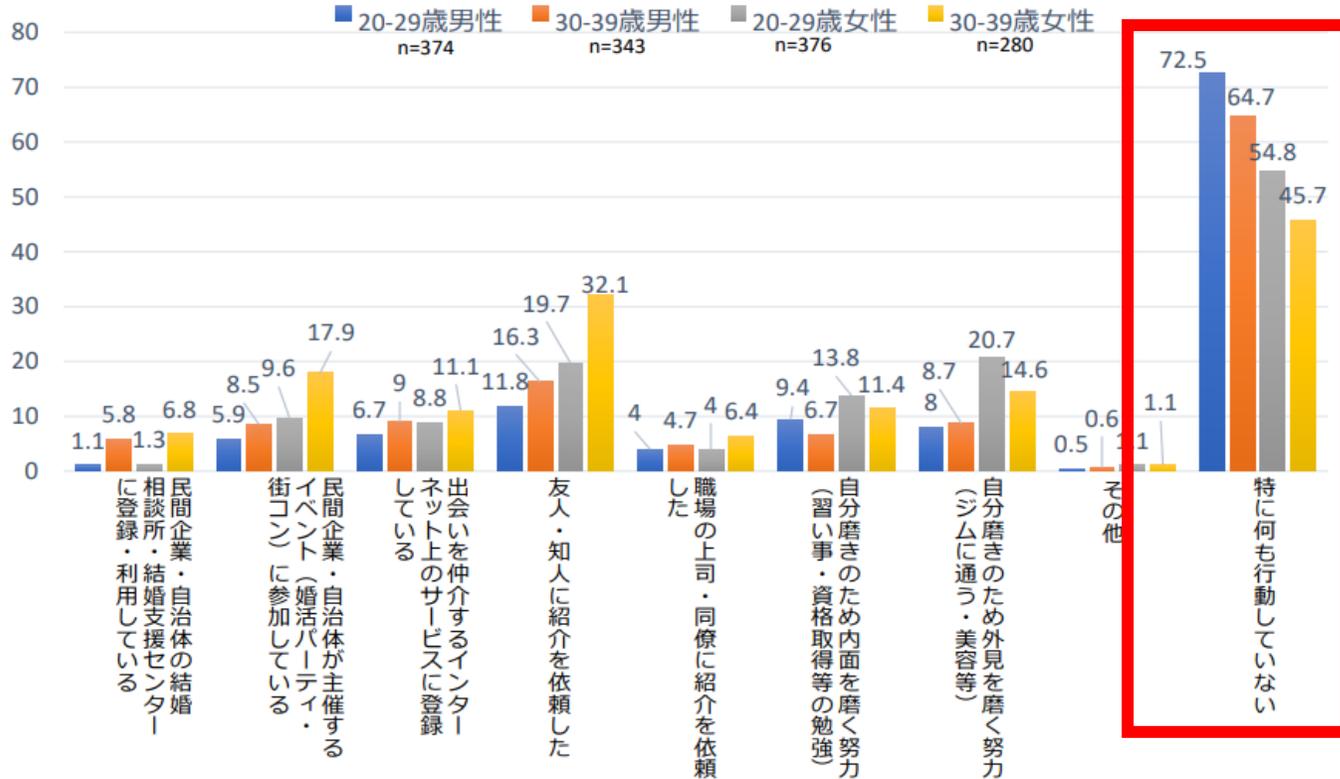


これからの長崎県の婚姻率について

田村 優史

相手を探すために起こした行動



出典:平成30年度少子化対策に関する意識調査(内閣府)

【現状】

- 令和7年の長崎県人口:1,248,187人
- 令和6年の人口増減:15,632人減(自然減12,940人減)
(出典:令和6年長崎県異動人口調査結果(長崎県統計課))
- 婚姻率:3.3%(全国平均:4%)
(出典:令和5年人口動態統計月報年計の概況(厚生労働省))

【背景】

- 若者の結婚前向き率は、30年間変わっていない
- 結婚の意思はあるが、適当な相手に巡り合わないと思う人が多い
(出典:第15回出生動向基本調査(国立社会保障・人口問題研究所))
- 相手を探すための行動をしない人が多い
(出典:平成30年度少子化対策に関する意識調査(内閣府))
- 結婚のイメージが薄く、行動意欲が少ない

【考察した課題】

- 結婚へのイメージ・知識を深め、行動意欲を高める
→婚姻率UPにつなげる

【提案】

- 中学生や高校生、大学生それぞれの視点からのライフデザイン教育を継続して実施
- YouTubeやTikTokなどのメディアで、様々な(職業や家庭状況)家族のエピソードや1日のスケジュールなどの情報を発信